

他人まかせじゃ 身は守れない!

だから

進んで安全確認

自転車に乗っていて
事故にあった
65歳以上の死傷者の
主な違反

安全を確かめずに
急な進路変更
などをした

一時停止を
しなかった

安全を
確かめずに
交差点に入った



追突される危険があります。
進路変更するときは後ろから
車が来ているか
確かめましょう。



「どうせ車は
来やしない...」

と、
思いがちだ



※標識を
見落とさないよう
背筋を伸ばして
乗りましょう。

止まれ
は「止まらないと危ない」交差点だと
教えてくれています。必ず止まりましょう。



「ナンカ、ほんやり
していた...」

ってこと、
あるわね



歩道の切れ目や
路地の前を横切るときは、
車が出てくる危険を予測しましょう。

車道通行が危険な場合や70歳以上の人は、
歩道を通行することができます。

危険や恐怖を感じたら、無理に車道を走らずに、
歩道を通行しましょう。

ヘルメットをかぶりましょう!

万が一、事故にあったとき、
衝突や転倒の衝撃を緩和してくれます。

自転車事故では、約7割の方が「頭部損傷」で亡くなって
います。大人も子どももヘルメットを着用しましょう。



暗くなり始めたら
早めにライトを
点灯しましょう!

自分が「見る」ため
だけではなく、
周りに早く存在を
「知らせる」ためです。



自転車の側面には
反射材を。

東京都の自転車の安全で適正な利用の促進に
関する条例(第19条)では、自転車利用者は、反
射材、乗車用ヘルメットその他の交通事故を防
止し、または、交通事故の被害を軽減する器具
を利用するよう努めるものとされています。

歩道は歩行者優先です。車道寄りを徐行しましょう。